

## 当社取締役CFO兼管理本部長の

### ブルームバーグ TV におけるインタビュー（生放送）要旨

2012年8月10日 10:10～

(Opening)

>ゲーム業界において、既存ゲームタイトルの成長に牽引され、ネクソンは前年同期比当期純益32%の増加を発表しています。CFOのオーウェン・マホニーさんに東京からご出演いただきます。マホニーさん、本日は本当にありがとうございます。

(Interview)

>東京市場の前場が開くと、御社の株価はストップ安をつけると見られていますが、それについてコメントをいただけますか？

当社の第2四半期業績と通期への足どりについては満足いくものと考えております。当四半期は予想通りの着地であり、実際は予想よりも堅調と言える業績となりました。営業利益においては、予想を約15%上回ったこともあり、第2四半期業績に満足しております。売上高においては、通期の業績見通しを3.5%強下方修正しましたが、これはあくまでも微調整で、全体としては、当社の方向性について懸念はありません。為替レートを一定と仮定した場合、通期の売上高を前年度比22%増加と見込んでおり、確かに軌道に乗っております。業績予想は、これまでの既存事業の成長率及び当社の長期目標に沿ったものです。当社の予想通り推移しており、今期後半についても楽しみにしております。

>若干の下方修正とは仰ってますが、それが、株価下落要因になるとみられています。あと、もう一つの要因は、中国における売上高が第一四半期に比べて30%減少していることと見られていますが、いかがでしょうか？

当社の事業には季節性があります。一般的に第1四半期と第3四半期は好調な四半期ですが、翌四半期になると、常に売上高の減少が見られます。そのため、当社内では、前四半期と対比せず、前年同期の業績と比較します。また、当四半期の数値は前年同期比で大幅に伸びており、業績については非常に満足しております。（日本以外の中国を始めとした）アジア諸国では、第1四半期に旧正月があります。それにより、第1四半期は第2四半期に比べて常に業績が好調となるのです。

>では、御社のゲームタイトルについてお話しいただけますでしょうか。現在のところ一番好調なゲームタイトルは何でしょうか？『アラド戦記』(Dungeon & Fighter) と言われていますが、現況はいかがですか？

『アラド戦記』は、引き続き非常に好調です。当四半期でも継続して中国で1、2を争う人気ゲームタイトルとなりました。MCCU（最大同時接続ユーザー数）の記録も更新しました。MCCUとは、どのくらい的人数が、またどれだけアクティブに遊んでいるかを示す指標です。因みに、『アラド戦記』以外のゲームタイトルも力強い成長を続けており、当社の売上高のほとんどを占める8大ゲームタイトルの全てについて満足しております。

>御社はもちろん新規ゲームタイトルを開発し続けたいといけませんが、これから期待できる新規ゲームタイトルはありますか？

もちろんです。第3四半期末から第4四半期にかけて、いくつか新規ゲームタイトルの配信を開始する予定です。PC、iPad及びモバイルで遊べるマルチプラットフォームのゲームタイトルの配信を開始します。また、FPS（ファースト・パーソン・シューティング・ゲーム）ジャンルで人気のある『カウンターストライクオンライン』の続編と『マビノギ2』（仮名）を配信開始予定で、当社の今後の配信予定については大変期待しております。更に、最近では『FIFAオンライン3』についてElectronic Arts社（以下EA社）と提携、EA社と共同で来年度の初頭に韓国において配信を開始いたします。当社は、その他にもいくつか新規ゲームタイトルの配信を控えており、（繰り返しになりますが、）今後の配信予定には大変期待しております。

>御社の事業を全体で見渡したとき、現在どれくらいが既存のプラットフォームからモバイルへとシフトしているのでしょうか？

当社はモバイルゲームの開発を多数行っており、地域的にも、日本や韓国、また世界各国に成長機会があると捉えております。ただ、面白いことに、各地域において共通に言えるのは、当社の基幹事業でもあるPCゲームで遊んでいるユーザーが、モバイルゲームでも同様に遊んでいるということです。要は、PCゲームのユーザーはPCゲームかモバイルゲームのどちらか一方へシフトするのではなく、プラットフォームを追加していく、ということです。モバイルゲームは電車の中とか、自分がどこにいても持ち運べますが、モバイルがPCゲームを食ってしまうということはありません。むしろ当社のゲームタイトルへのアクセスを増やす機会を作るものと考えております。それが、ひいては当社の事業を向上させると捉えており、事業の成長のために当社が注力しているポイントとなります。

>ネクソン CFO のオーウェン・マホニーさん、どうもありがとうございました。

(以上)